

経営比較分析表（令和2年度決算）

和歌山県 紀の川市

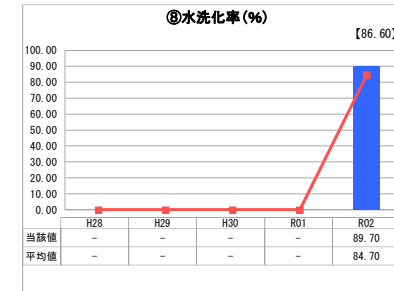
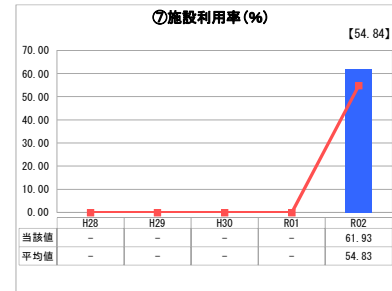
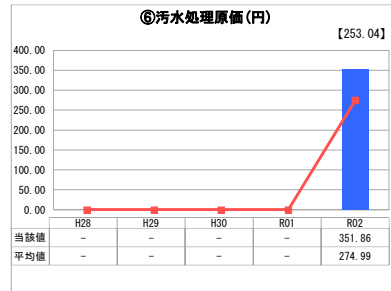
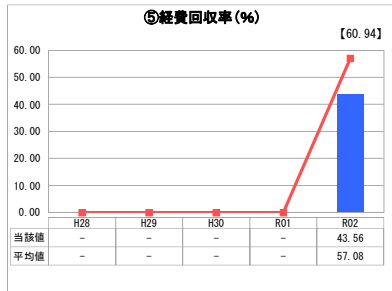
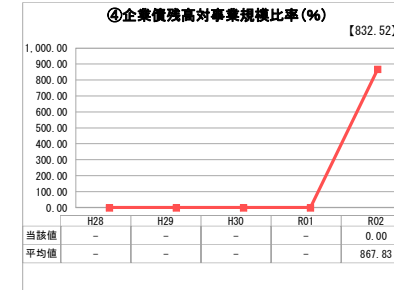
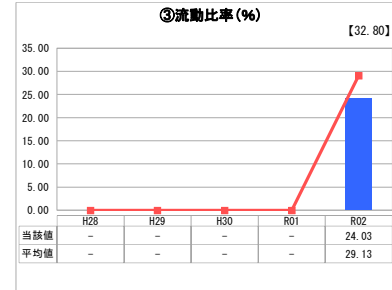
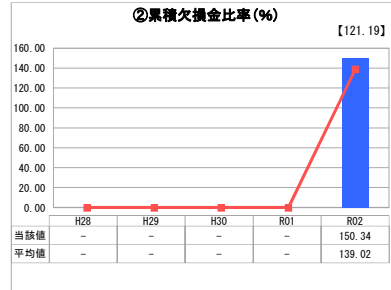
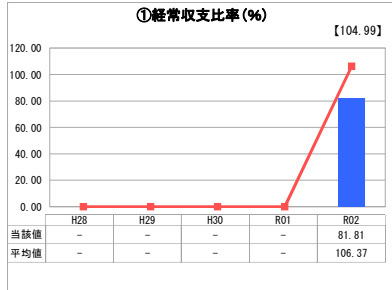
業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家産料金(円)
-	62.24	0.70	100.00	3,980

人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
61,094	228.21	267.71
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
427	0.17	2,511.76

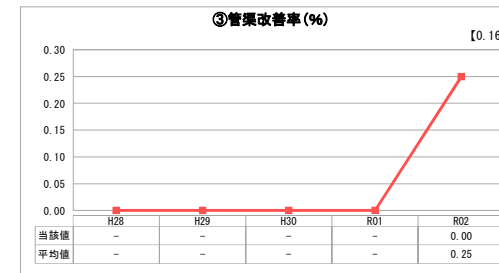
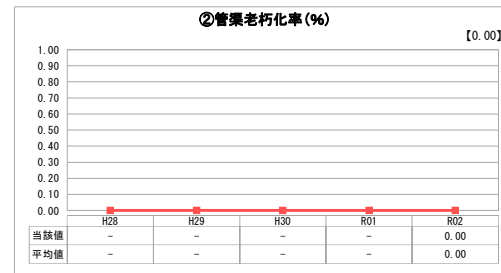
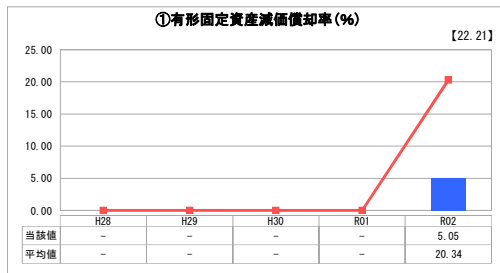
グラフ凡例

- 当該団体値（当該値）
- 類似団体平均値（平均値）
- 【】 令和2年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

- ① 経常収支比率
人口減少と高齢化により使用料が減少傾向にあり、一般会計からの補助金に依存しているため低水準となっている。
- ② 累積欠損金比率
人口減少と高齢化により使用料が減少傾向にあり、施設にかかる経常的経費を賄えないため、高い水準となっている。
- ③ 流動比率
一般会計からの補助・出資に依存しながらの事業運営となっているため、低い水準となっている。
- ④ 企業債残高対事業規模比率
事業運営にかかる資金不足額および企業債残高は、すべて一般会計が負担していくこととなっている。
- ⑤ 経費回収率
施設にかかる経常的経費を使用料で賄っていない状況となっている。
- ⑥ 汚水処理原価
人口減少と高齢化により有収水量が少ないため、汚水処理原価が高い水準となっている。
- ⑦ 施設利用率
人口減少により利用率が減少していく中で、現状において適正な水準となっている。
- ⑧ 水洗化率
事業整備が完了しているため高い水準となっている。

2. 老朽化の状況について

- ① 有形固定資産減価償却率
集落排水施設全体としては、低い水準となっていますが、西山・善田の2つ処理区のうち、西山処理区については、供用開始から20年以上が経過し、施設更新の時期を迎えています。
今後流域関連公共下水道への接続によって、施設の廃止等により事業の縮小を図ります。

全体総括

令和2年度から地方公営企業法を適用し、適用初年度から累積欠損金が生じています。
一般会計からの補助や出資に依存する厳しい事業運営となっている中、西山処理区を公共下水道へ接続することで事業の縮小が図れますが、過疎地域の集落排水のみが存続し、事業運営はさらに厳しくなることが予想されます。
今後、中長期的な経営戦略を策定し、持続可能な事業運営となるよう努めます。

※ 「経常収支比率」、「累積欠損金比率」、「流動比率」、「有形固定資産減価償却率」及び「管渠老朽化率」については、法非適用企業では算出できないため、法適用企業のみ類似団体平均値及び全国平均を算出しています。